

冬期講習会前－各種イベント

講座名	対象学年	実施日	実施時間	科目
冬の無料体験3Times (3回まで無料体験にご招待)	全学年	11・12月中の平日 ※月曜を除く	体験したい授業の曜日・時間帯によって異なりますので、一度本部までお問い合わせください。※過去講習会時に一度体験でご利用された方は対象外です。	全教科
小4～小6 分類王決定戦	小4～6	10/13(土)	小4;14:10～14:50 小5;15:20～16:00 小6;16:30～17:10	理科
小3・4 おもしろ算数強化講座	小3・4	11/19～22(火～金)	塾生はサンシロー時間内で実施します。	
小5 ピタゴラ図形強化講座	小5	12/3(火)	18:00～18:50	
小6 中学準備講座	小6	11/30(土), 12/7(土)	13:00～15:10 ※60分×2	
入試特訓ゼミ(申込制・塾生必修)	中3	12/1(日)	10:00～17:30 ※昼食休憩含む	※塾生;18,700円
		12/8(日)	10:00～15:10 ※昼食休憩含む	※一般生;26,400円
正月必勝特訓講座(申込制)	中3	12/31(火), 1/1(水)	13:00～17:50 (塾生;23,100円 一般生;33,000円)	
中学部7時間耐久勉強会	中1～中3	12/14(土)	13:00～22:00 ※1時間夕食休憩含む	

冬期講習会－各種テストスケジュール

トライアルテスト・合格判定模試			北海道学力コンクール		
小3・小4 ※公園教室	12月22日	14:00～15:20	小3 ※公園教室	1月10日	10:30～11:50
小5・小6 ※公園教室		15:40～17:00	小4 ※公園教室	1月11日	14:00～15:20
中1 ※緑教室	12月21日	18:00～21:50	小5・6 2科	1月11日	15:40～17:00
			小5・6 5科		15:40～18:35
			※小5生が40人を超えた場合は緑教室にて実施予定		
中2 ※公園教室			中1 ※公園教室	1月10日	13:10～17:00
中3 ※公園教室	12月15日	09:00～13:25	中2 ※公園教室		
中3 ※公園教室	1月4日	12:35～17:00	中3 ※公園教室	1月11日	09:00～13:50



トライアルテストのレベルは道コンより少し高めです。
範囲は現学年の2学期内容までなので、しっかり復習した上で臨みましょう!!

【ニスコラム】近年の公立高校入試を本気で分析してみた。－データ分析編－

【公立高校入試における全道平均点】						
全道平均	国語	数学	社会	理科	英語	合計
2024年度	46.4	48.8	38.2	38.5	41.0	212.9
2023年度	54.2	47.4	41.0	35.4	50.6	228.6
2022年度	70.0	47.6	52.9	54.6	55.2	280.3

【8月道コンにおける全道平均点】						
中3	国語	数学	社会	理科	英語	合計
2024年度	57.9	53.4	48.4	47.9	59.0	266.7
2023年度	49.8	53.0	57.9	42.5	54.1	257.5
2022年度	70.1	49.1	55.9	53.1	52.4	280.9

【中2】						
中2	国語	数学	社会	理科	英語	合計
2024年度	48.4	51.3	51.7	50.4	53.2	255.2
2023年度	45.5	53.5	51.1	53.0	51.4	254.6
2022年度	60.9	52.3	47.3	43.3	53.2	256.4

【中1】						
中1	国語	数学	社会	理科	英語	合計
2024年度	51.6	61.0	58.0	64.2	58.6	293.7
2023年度	47.0	48.1	57.8	64.3	66.6	284.0
2022年度	60.9	54.2	56.4	58.2	59.9	289.9

みなさん、こんにちは。平岡緑教室担当の成田です。
皆さんは、昨年度の公立高校入試の全道平均点と今年度の8月の道コンの平均点をご覧になりましたでしょうか？
新入試になる前の道コンや公立高校入試の傾向をざっくりとお話しますと、それまでは道コンの方が難度が高く、得点し辛かったものですが、近年はそれが逆転しているのです。

まず、恐るべきは昨年コラムでも取り上げさせていただいた国語です。公立高校入試の全道平均からも明らかですが、年々難化しているのです。このデータ比較でさらに恐ろしいことが分かったのですが、中1・中2の国語の平均点が5教科の中で最も低いということです。

それまでの国語という科目はいわゆる「ノー勉」であってもそれなりに得点することが可能な科目でした。そして、その特性上、平均点が低くなりやすい科目だったのです。

ですが、この平均点は僅差などではなく圧倒的に低くなっている。つまり、圧倒的に難化している証拠なのです。

また昨年の公立高校入試の問題を受けて、社会も平均点が下がっています。それまでの社会は「憶えている人の勝ち」でした。ですが、近年の入試は違います。たくさんの資料やデータを読み取って、そこからわかる傾向などを説明させる問題が増えてきているのです。今までの「ただ暗記する」という勉強法ではもう太刀打ちできない問題が多く出題されるようになりました。

以上に上げた難化し続ける2教科の対策には、共通項があります。それは「どれだけ記述の対策を入れているか」です。これはその対策にかけた時間の絶対量に加え、「添削」というプロの目というフィルターをどれだけ介したのか、その回数が大切です。自分の判断で採点した記述の解答には、致命的な誤りが発生している可能性が高いのです。正しい指摘と正しい修正を加えらるる人に一度、生徒の解答をみてもらわなければ得点を上げることは難しいのではないかと感じています。
ニスコではこの「添削」の時間を設けて、「1点でも多く得点をもぎ取る」訓練を入れているのです。今年度の夏の道コンで、当教室を含め、多くの教室から全道上位者を輩出できた背景には、このような粘り強い取り組みがあったからだだと自負しております。たとえ、どれほどの時間がかかることであっても、これからも全力かつ真摯に対応させていただきます。